

当初の試算から23億円の増

只見線の復旧費が108億円

9月24日、県と只見線沿線7市町による「JR只見線復興推進会議検討会」が福島市で開かれ、JR只見線一部不通区間(只見駅―川口駅)の復旧費についてJR東日本より、当初試算した85億円から23億円増の108億円になるとの新たな試算が示されました。

増額は、資材高騰や設備の老朽化などが要因とされ、増額を受けた県と沿線市町は、復旧費の削減に向けた復旧方法の再検討をJR側に要請し、JR側は次回合合までに新たな試算を明らかにできるように再検討するとしました。また、目黒町長は「只見線は生活や観光・地域振興に欠かせない大事な路線。沿線市町村とともに復旧に向け推進したい」と述べました。



▲増水に備え安全対策として橋りょう全体の嵩上げ案が示された寄岩対岸の「第8橋りょう」。再試算された復旧費は52億円(当初より7億円増)

災害時の新たな通信手段

無線機を活用した防災訓練を実施

9月11日、町の防災主要事業の一つとして「平成28年度只見町防災訓練」が地域防災計画に基づく各地区避難所で行われ、区長や区民約100名が参加しました。

これは平成26年度に各地区避難所(集会施設など)に設置された無線LANを利用した無線機で、避難所と災害対策本部(役場本庁)を結ぶ新しい通信手段の訓練を行ったものです。災害時に固定電話や携帯電話が使用できなくなった場合にこの無線機の使用が想定され、訓練では各避難所と本部で通信・交信の確認を行いました。無線機は各避難所(集会施設など)に1台設置し、災害時の有効な通信手段として期待されます。



▲(写真/寄岩地区)無線機で本部と通信の確認をする寄岩地区の方々

長寿と健康を祝って!

3地区で敬老会を開催

町内3地区の敬老会が季の郷湯ら里を会場に行われ、明和地区は169名(10日開催)、只見地区は183名(11日開催)、朝日地区は208名(17日開催)の満75歳以上の方が参加されました。会場内では友人との再会を喜び合う姿が見られ、また会場が湯ら里になったことで椅子に座れることを喜ぶ声も多くありました。

敬老会では、参加者の長寿と健康を祝って、保育所の子ども達や、婦人会の皆さんによる歌や踊りが披露され、参加者の皆さんは目を細めて笑顔で見入っていました。

来年も大勢の方が元気に参加していただけるようお待ちしております。



▲(写真/只見地区敬老会)踊りを披露する只見保育所さくら組の子ども達

只見の自然を学ぶ

只見おもしろ学・自然編を開催

教育委員会主催の「只見おもしろ学・自然編」が9月7日、三石神社の森(只見)と真奈川あがりこの森(蒲生)を会場に行われ、町民17名が参加しました。

縁結び神社として知られる「三石神社の森」では、「ご神体の奇岩にこよりを通し5円玉を結ぶ縁結び体験をし、「あがりこの森」では、コブ状の幹をもちゴツゴツした枝を広げた奇形樹(あがりこ)や、かじご焼きの跡について説明を聞き、地元只見の人にとって当たり前の景色が、「地球の宝である」ということを学びました。

体験終了後は、八十里庵で終了証が参加者に手渡され、改めて只見の良さに気付いた1日となりました。



▲三石神社で縁結び体験をした参加者の皆さん

「風とロック」ギター弾き語りコンテスト
只見高1年「大竹涼華さん」優勝!



▲今後、オリジナル曲を増やし多くのイベントに参加したいと語る大竹涼華さん

9月17日、猪苗代町の猪苗代野外音楽堂で開催された「風とロック芋煮会2016」のギター弾き語りコンテスト「アコワン・グランプリ」で、只見高校1年生の大竹涼華さんが見事優勝しました。

大竹さんは約13名が参加した予選会(西会津町)でオリジナル曲「あなたへ」、3名で争った決勝で「片平里菜/teenage lovers」を歌い頂点に立ちました。そして18日、優勝した大竹さんは白河市で人気アーティストと同じステージに立ち、オリジナル曲「あなたへ」を歌いあげました。「楽屋でプロの人を目の前に緊張したけど、本番は楽しむ事ができた」と笑顔で話してくれた大竹さんの今後の活躍に期待です。

夢や目標の実現のために
只見高校生が短期海外留学



▲目黒町長(右)へ帰国報告をする武田さん(中)と目黒さん(左)

9月21日役場にて、カナダへ短期留学した只見高校2年の武田元さんと目黒眞子さんが、目黒町長へ帰国の報告を行いました。

この留学は、只見町と只見高校とが連携し、生徒が夏休み期間を利用して約2週間海外へ短期留学できるように支援している事業です。

目黒町長への帰国報告は英語で行われ、武田さんは「留学を通して、もつと多くの国へ行き歴史や文化を知りたくなった」と話し、目黒さんは「今回の経験により、もつと深く英語を学びたくなった」と感想を伝えました。

目黒町長は「英語だけではなく、心も成長したように感じる。自分の目標に向かって頑張つて欲しい」とエールを送りました。

国道289号歴史と未来の道
八十里越り抜けツアーを開催



▲工事区間で長岡国道事務所の説明を受ける参加者の皆さん

早期全線開通が期待される只見町・新潟県三条市を結ぶ国道289号(通称・八十里越)の通り抜けバスツアーが、只見町観光まちづくり協会の企画で、8月と9月に各1回(いずれも日帰り)実施されました。

このバスツアーは、工事区間で見学・説明を受けたほか、三条市内の観光施設や工場見学を行い、開通後に期待される経済面などの効果について感じてもらおうことが狙いで、ツアーを通して参加者からは「早く開通してもらいたい」という声が多く聞かれました。

今後10月23日に、今年最後の日帰りバスツアーが予定されています。

初秋の田子倉を楽しむ
「田子倉ダムまつり」開催



▲田子倉湖でカヌー体験を楽しむ来場者

9月17・19日、田子倉レイクビューで「田子倉ダムまつり」が初めて開催されました。主催は田子倉レイクビュー。只見町物産販売協業組合で「たくさんの方に田子倉ダムで楽しんでもらいたい」という思いで企画されました。

まつり当日はあいにくの雨模様でしたが、特産品などの販売や、遊覧船・モーターボート・カヌーの乗車体験など、田子倉ダムならではのおもてなしに、訪れた観光客は楽しんでいました。

このイベントを通して田子倉の魅力を発信し、これから本番となる紅葉シーズンの来場者増加に繋がります。